

2. 指標設定

成果指標	指標名	生涯学習機会の提供		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—				総合計画・後期基本計画(基本施策 5-1-1)による			
活動指標	指標	a	自主クラブ数	b	公民館講座・教室数	c		d	
	数値	目標	210件	目標	50件	目標		目標	

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
生涯学習機会の提供		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 自主クラブ数	件	190	192	194
		90.4 %	91.4 %	92.4 %
b 公民館講座・教室数	件	48	48	55
		96.0 %	96.0 %	110.0 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
領域別社会教育事業及び生涯学習事業への参加者が固定化の傾向にある
対応(改善点等)
組織再編の中で効果的な公民館運営の検討及び住民自らが学習に取り組むための支援に取り組む

5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

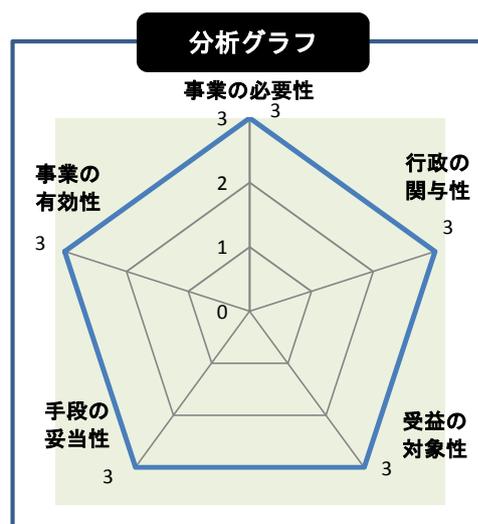
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		72,143	91,557	103,246	96,740
うち経常経費		69,152	64,768	65,979	73,825
財源内訳	国費		21,500	32,449	8,000
	県費				
	市債				
	その他	2,903	2,922	3,183	2,651
	一般財源	69,240	67,135	67,614	86,089
うち経常		66,249	61,846	62,047	71,174
事業費に係る人件費		72,166	93,864	87,594	86,000

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
5ヶ年の削減計画により削減

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市民の健康と生きがい、コミュニティづくりに必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令に定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広報により、全市民に呼びかけている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 総合計画の項目であり妥当である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 社会教育及び生涯学習の振興に寄与している



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	課題に対応するとともに、公共施設の見直し方針に則り事業の進捗を図ること(地区公民館)